

海外株式投資のご案内

—注目のフィリピン株にふれてみる—

ごあいさつ

この度は、海外株式投資にご興味をお持ちいただきまして、誠にありがとうございます。本書では、より具体的にオススメするフィリピン株式市場の可能性と証券口座開設までのプロセスをお伝えします。後半でオススメする証券会社は、弊社でしっかりとしたリサーチの元、信用できる証券会社となっております。

是非とも開設をご検討頂き、資産の保全・運用・節税にご利用いただけたら幸いです。

株式会社CITY OF DREAMS

フィリピン株は初心者にも安心な カンタン・シンプル資産運用手段！

老後の備えとしてのガッツリ投資から、
少額へソクリ投資まで、

優良上場企業やIPO株を購入して、5年・10年
寝かせておくだけ！ただ、それだけ！

その理由とは!?

✓人口増加と経済成長

人口ピラミッド／経済成長予測

✓参加しやすい環境

上場企業数／株単価／市場参加人口／IPO

フィリピンについて

●基本データ（国土データ）

面積：299,404平方キロメートル（日本の約8割）。7,109の島々がある。

人口：約1億840万人（2019年フィリピン国勢調査）

言語：公用語はフィリピン語及び英語。80前後の言語がある。

宗教：ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック

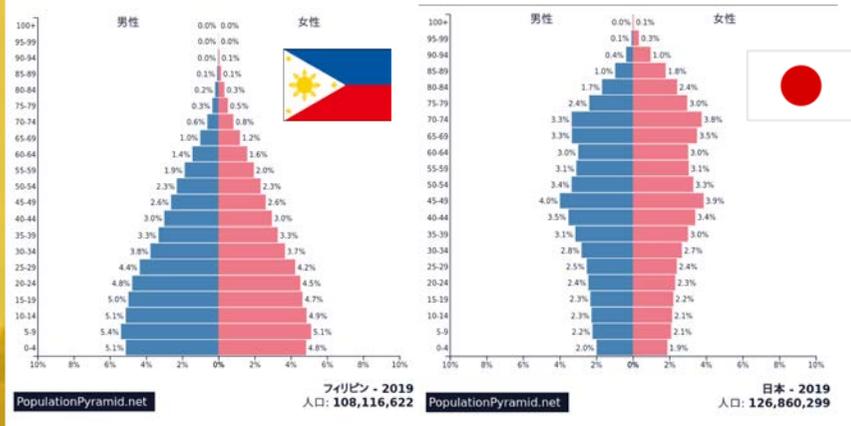
在留邦人数：約16,894人（2019年）
※うちマニラは8313人



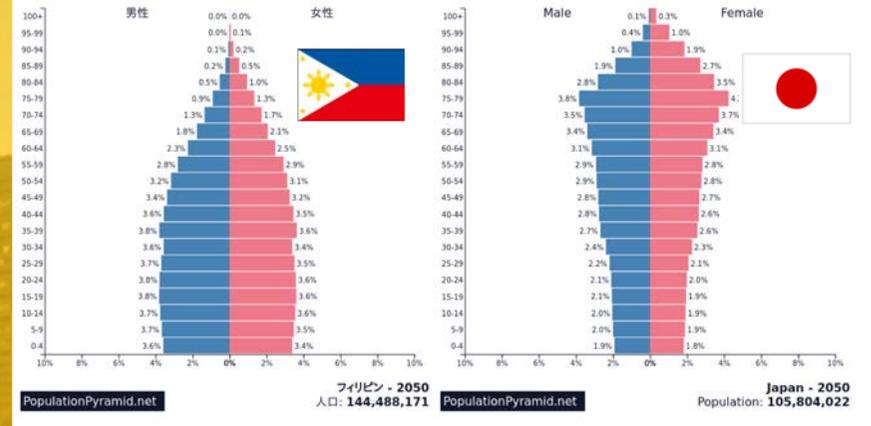
フィリピンについて

●基本データ（人口ピラミッド）

2019年



2050年



人口ピラミッドを日本と比較すると、日本は少子高齢化社会が進んでいることに対し、フィリピンでは働く世代の若い人口が多い綺麗なピラミッド型になっていることがわかります。これは、1950年代高度経済成長期の日本に似ており、経済成長のための必要条件が整っていると云えます。2050年時点での人口ピラミッド予測を見ても、フィリピンではまだ若い世代の人口が多く、この傾向は長く続いていくことが読み取れます。

フィリピンについて

●国の将来性（経済成長率）

経済成長率の推移を日本と比較してみると、日本の成長率はここ40年間で減少している一方で、フィリピンは比較的高い水準を維持していることがわかります。

先ほどの人口ピラミッドからもわかるように、

今後も若い世代の「人口ボーナス」が期待でき、この成長率は今後も長期に渡って続いていくと予測できます。

年	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
	5.15	3.42	3.62	1.88	-7.32	-7.31	3.42	4.31	6.75	6.21
	3.18	4.21	3.31	3.52	4.50	5.23	3.33	4.73	6.79	4.86
年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
	3.04	-0.44	0.37	2.10	4.24	4.49	5.75	5.06	-0.63	3.32
	4.89	3.42	0.85	-0.52	0.99	2.74	3.10	1.08	-1.13	-0.25
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
	3.85	3.05	3.72	5.09	6.57	4.94	5.32	6.52	4.34	1.45
	2.78	0.41	0.12	1.53	2.21	1.66	1.42	1.65	-1.09	-5.42
年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
	7.34	3.86	6.90	6.75	6.35	6.35	7.15	6.93	6.34	6.04
	4.19	-0.12	1.50	2.00	0.38	1.22	0.52	2.17	0.28	0.67
年	2020									
	-8.26									
	-5.27									

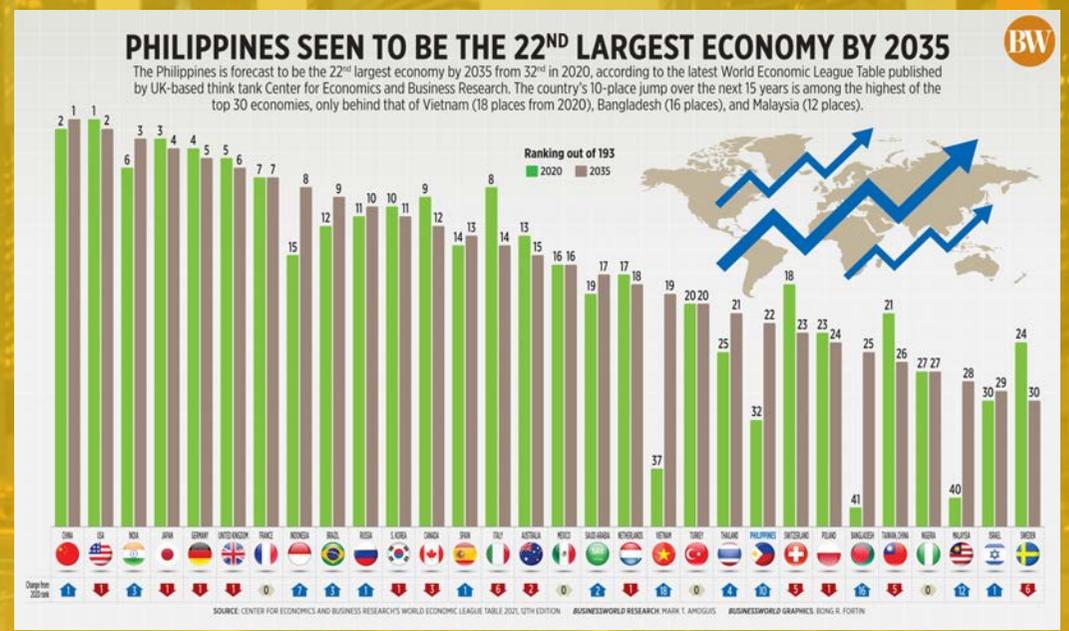
単位: %

※ 数値はIMFによる2020年10月時点の推計

フィリピンについて

●国の将来性（経済成長予想）

今後のフィリピン経済の規模予想について、現時点ではフィリピン経済は世界34位となっていますが、14年後の2035年には22位、更に二年後の2037年には18位に上昇すると予想されており、**将来的にも更なる発展に期待が持てる国**となっています。潤沢な労働力、経済の成長予測という面から見ると、フィリピンは投資先に適している国だと言えます。



フィリピン株式市場の魅力

●参加しやすい環境（上場企業数）

フィリピン

上場銘柄数 273社
(2019年2月時点)

総合指数構成銘柄数 30社
(PSEi)

日本

上場銘柄数 約2100社
※東証一部（2019年2月時点）

総合指数構成銘柄数 225社
(日経225)

参加しやすい環境である理由の1つ目は、フィリピン株式市場に上場している企業が少ないという点です。

フィリピンは、2019年2月の時点で273社が上場しています。それに対して日本は東証一部に上場している企業だけでも約2100社あります。

ここからわかることは、フィリピンの株式市場に上場している会社は「フィリピン経済の根幹を支えている安定した企業が多い」ということです。

また、**上場企業が少ないので投資する会社を選びやすく、初心者の方にも向いている**と言えます。

フィリピン株式市場の魅力

●参加しやすい環境（株単価）



980ペソ×10株=9,800ペソ
(約21,000円)



21,540円×100株=
2,154,000円

2つ目の魅力は、株の値段が安いという点です。

日本では、原則として株は100株単位での購入が基本となります。たとえば2021年1月時点で、ニトリ社の株を購入したい場合、取得単価は一株21,540円×100株で合計2,154,000円が必要になります。

一方、フィリピン株の場合は株価の値段に応じて最低購入株数が決まります。たとえばフィリピンで非常に有名なSMインベストメンツという巨大企業の場合、1株が980ペソ、だいたい日本円で2,100円くらいです。この単価の株の場合、最低購入数は10株単位となります。

したがって、仮にこのSMインベストメンツの株を購入したい場合、980ペソ×10株で合計9,800ペソ、日本円だと約21,000円あれば、この一流上場企業の株主になれるということです。つまり、**少ない資金からでも大手企業の株が買える**という点が2つ目の魅力になります。

フィリピン株式市場の魅力

●成熟していく市場（市場参加人口）

フィリピンの証券口座開設数	86万8000口座 (2017年)	▶ 108万9000口座 (2018年)	25%の増加
年齢の割合	18~29歳…21.5%	30~44歳…43.1%	45~59歳…21.6%
男女比	男性…55%	女性…45%	
年間利益	100万P以下…83%		

2018年の時点でフィリピンではわずか108万口座しか証券口座が開設されていません。しかも、年間利益が100万ペソ以下の小口投資家がほとんどです。

一方、日本の場合は有名な5大証券会社だけでも2,200万件以上の口座が開設されています。

フィリピンは経済発展に伴い、この先10年の間で株式投資を始める若い層が多くなると見込まれています。**まだ成熟していない段階で先に資金を投入できれば、将来の大きなリターンが見込める**と言うのも大きな魅力です。

フィリピン株式市場の魅力

●成熟していく市場（IPOの可能性）

現地フィリピンの証券口座を開設する理由として、やはりIPOを購入するチャンスがあるということ。日本と同じく抽選ですが、**市場参加者はまだまだ少なく高い確率で当選します**。株式投資で運用益を得る方法としてIPOは欠かせないものです。

<直近のIPO価格推移>

銘柄	シンボル	IPO価格	上場日	最新の価格 (2021/09/17)
DDMP REIT, Inc.	DDMPR	P2.25	2021年3月	P1.82 
Monde Nissin Corp.	MONDE	P13.50	2021年6月	P19.06 
FILINVEST REIT	FILRT	P7.00	2021年8月	P7.25 
RL COMMERCIAL REIT, Inc.	RCR	P6.45	2021年9月	P6.46 

フィリピン経済の可能性がみえたところで、
ここからはフィリピン株式に参加する方法をお伝えします。

弊社フルサポートによる口座開設 おすすめフィリピン証券会社

▶ トリプルエー証券

証券会社名	AAA Southeast Equities, Inc.
ウェブサイト	https://aaa-equities.com.ph/
SEC 登録番号	170457
所在地	Ayala Tower One and Exchange, Unit 1511, Ayala Avenue cor. Paseo de Roxas, Makati City, Philippines
取扱い通貨	フィリピンペソ(PHP)

メリット

▶ 証券口座開設まで業界最速！

数あるフィリピン証券会社の中で、AAA証券は特定口座開設までのプロセスがシンプルかつ非常にスピーディーです。現地証券会社がサポートしている言語は、英語もしくは現地タガログ語のみの対応ですが、弊社を介しての口座開設であれば、言葉の壁の心配も解消されます！

▶ 日本国内に居ながら口座開設が可能！

通常、現地フィリピン国に所在のある証券会社で口座を開設するには、Philippines Tax Identification Number “TIN”（納税者番号）の提出やフィリピン国内の銀行口座を保有している必要があります。弊社を介して口座開設いただくことで、こういった煩わしさもパスすることができます！

▶ 海外銀行口座を持っていなくても入出金可能！

通常、海外の証券口座開設には合わせて現地フィリピンの銀行口座を保有している必要があります。AAA証券では、そういった障壁にも対応しており、日本国内銀行からの送金の受付や、出金にも対応しています。また、弊社サポートを介する事で、フィリピン大手銀行口座を開設することも可能となっております。

* 銀行口座開設には、現地に出向く必要があります。

他社比較

証券会社名	AAA Equities	AB Capital	アイザワ証券
証券口座開設費用	😊	😞	😊
口座開設までの期間	😊	😞	😊
取引プラットフォーム	😞	😊	😊
日本語サポート	😞	😊	😊
取扱い銘柄	😊	😊	😞
IPO参加可否	😊	😊	😞
取引手数料	😊	😊	😞
評価合計	20pt	17pt	16pt

【評 価】

😊 非常に良い ... 4 pt 😊 良い ... 3 pt 😞 普通 ... 2 pt 😞 悪い ... 1 pt 😞 非常に悪い ... 0 pt

証券口座開設各プラン

プラン	費用（税込）	サービス内容
シンプルプラン	55,000円～	AAA証券口座開設サポートサービス
プレミアムプラン	110,000円～	シンプルプラン + IPO情報配信サービス（1年間）
オールインワンプラン		プレミアムプラン + オールインワンプランにつきましては、現在、COVID-19の影響により、お申し込みを停止しております。ご了承ください。

※ 渡航費・滞在費は別途となります。

* IPO情報配信はリサーチ及び翻訳の関係上、IPO申し込み期日間近になる場合がございます。

* IPO情報配信のサービス期間はお申し込みから1年間です。サービスご利用を継続する場合は、更新費用55,000円（税込）が必要となります。

証券口座開設にご準備いただくもの

▶ 本人確認書類 (以下の中から2点)

パスポート／運転免許証／健康保険証（個人住所入り）／国際運転免許証

▶ 銀行口座確認書類 (必要記載事項： 銀行名・支店名・口座番号・お名前（証券口座と同名義）)

通帳もしくは、ネットバンキング等で通帳がない場合は銀行口座保有証明書や残高証明書。

* 口座残高や入出金状況は金額を塗りつぶしていただいて構いません。

▶ 各プラン証券口座開設費用

証券口座開設各プランページをご参照ください。

AAA証券口座開設の流れ

流れ	備考
STEP1. 証券口座開設の申し込み	専用の申し込みフォーム www.
STEP2. 証券口座開設費用の払い込み	シンプルプラン：55,000円～ プレミアムプラン：110,000円～ オールインワンプラン：330,000円～
STEP3. 必要書類の署名及び提出	署名し、スキャンデータを弊社に提出
STEP4. アカウント開設通知	AAA証券より直接開設通知が来ます
STEP5. 証券口座へ入金	指定された銀行口座へ10,000ペソ以上を海外送金します。(AAA証券会社銀行口座) *ご入金あるまでは、口座はアクティブ化されません
STEP6. 送金通知	AAA証券及び弊社宛に送金した旨をメールで通知します。
STEP7. 取引開始	AAA証券にて入金を確認でき次第、取引口座に反映

さいごに

いかがだったでしょうか？

今の時代、投資は非常に身近な存在になってきています。インターネットの普及により、その投資先はグローバルなものになってきています。

マネカレ塾の中でも解説しておりますが、資産のポートフォリオを組む上で、海外の資産を保有しておくことはリスクヘッジの観点から、非常に重要です。

参考動画URL <https://youtu.be/wShexGt2fpk> (ポートフォリオ完全解説！【前編】)

今回ご紹介させて頂いた「フィリピンAAA証券特定口座開設」をご希望の方は、下記URLより開設をお申し込みください。

<https://cod.expert/overseas-stock-investment-entry/>

ご連絡お待ちしております。

株式会社CITY OF DREAMS